

## <令和3年度卒業証書授与式>

# 校長式辞 ～卒業生に贈る言葉～

ただいま3年生の皆さん一人一人に卒業証書を手渡しました。あらためまして、卒業おめでとうございます。この卒業式ではじめて、3年生全員のマスクのない素顔に名前の一致した形で接することができ、たいへん嬉しく感じています。

今日から弥生3月です。本来なら、この晴れの旅立ちの日を、全校合唱や卒業合唱の披露も含めて、在校生やたくさんの来賓の皆さんとともに盛大にお祝いすべきところ、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、昨年度に引き続き簡略的なものとなりました。

しかし、だからと言って、卒業生のこの3年間は色あせるものでは全くありません。今回、皆さんにどんなはなむけの言葉を贈ろうかと考えましたが、この最後の最後の場面でもやはり、ありきたりの美辞麗句よりも、この一年間、私が皆さんに伝えてきた、一人間として目指すべき姿についてあらためてお話をさせていただきます。

私がこの一年間、全校集会等でことあるごとに皆さんに伝えてきたことは2つです。

一つは、周囲から「愛され、励まされ、応援されるような人間」を目指してほしいということです。もちろんそれは、周囲のご機嫌をとったり、忖度したり、世渡りのうまい处世術を身につけたり、大勢に流されるということとは全く違います。どんなことにも誠実にひたむきに、どんな困難や失敗にもくじけないでチャレンジする、そんな真摯な生き方をすれば、必ずや、あなたのことを周囲の人たちは、愛し励まし応援してくれるはずです。そのためにも、大切なことが、『感謝』『謙虚』『モラル』です。これも繰り返し伝え続けてきました。

支えてくれる人への『感謝』の気持ち。奢らず威張らず偉ぶらない『謙虚』な態度。そして、ルールやマナーや約束事を守る『モラル』です。

『感謝』『謙虚』『モラル』、この3つの言葉を肝に銘じ、常に周囲から「愛され、励まされ、応援されるような人間」をめざしてください。

もう一つ言い続けてきたことは、「多角的・多面的に物事を視る『眼』と『心』を養い、物事の本質を捉えられる人間」になってほしいということです。

いうなれば、人間としてのバランス感覚と人権感覚の問題です。これから、世の中は益々価値観の多様化、高度情報化社会が加速します。真実とは何か、正しいこととは何かを、様々な角度から広く俯瞰的に見極め、様々な立場の人間の視点で物事を公正公平に考え、どんな課題にも周囲と協働しながら解決を試み、差別や偏見のない社会の担い手で有り続けてください。

皆さんがこの山潟中学校歩んだ3年間は、まさに新型コロナウイルスに翻弄された3年間と言っても過言ではないものでした。人生の最も多感な3年間にこのような状況下であったことが、本当に皆さんの人生にとってプラスだったのかマイナスだったのかは、皆さんのこれからの生き方次第だと思います。このような未曾有な状況下でも、逆風を順風に変える工夫と辛抱強い感染予防に努めた学校生活を送った皆さんは、どの世代にも負けない勇気ある生き方をしてきた誇るべき世代です。そのプライドを胸に、これからの時代を、よりたくましく生きてぬいてほしいと願っています。

さて、ご臨席いただきました保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。本日のこの卒業生の成長した姿とともに、お子様の晴れの日を迎え、感慨もひとしおと推察申し上げます。学校としましても、多々至らぬ点があったかと思いますが、ご家族はもとより、我々教職員や全校生徒にとりましても、この山潟中学校で、卒業生のみんなと、楽しいこともつらいことも共に喜怒哀楽を共有できましたこと、生徒の成長する姿を間近で目にできたこと、そして生徒とともに我々自身も成長できたことは、何事にも代え難いかけがえのない至上の喜びでした。

本日をもちまして、3年間お預かりしました大事なお子さまを、完全に家庭にお返しする日となり、正直とても寂しい思いでいっぱいです。たいへん僭越ではありますが、今後とも、私たちも愛した子どもたちをどうか宜しく願います。

卒業してからも、皆さんが、幸せな人生を歩むことを心から祈っています。決して、有名人になることや社会的地位や栄誉や富を手にすることが幸せではありません。誰とも比べることのできない、あなただけの幸せをつかんでください。たとえ平凡な生き方と言われようと、家族を愛し、隣人を愛し、地域に貢献し、だれにも迷惑をかけずに、黙々と社会を支えながら生きることこそが素晴らしい生き方だと考えます。

最後にもう一度約束します。皆さんがひたむきに誠実に前向き真摯に一生懸命に生きている限り、私たちは皆さんに、心の中で、ずっとずっとずっとエールを送り続けています。

頑張れ、山潟中学校第39回卒業生諸君！

素晴らしい3年間をありがとう。そして、本当に卒業おめでとう。